

足したやうな気分になつてゐるん  
ではないかと思ふます。

九

然し兎に角、自分は自分だ、自  
分は工場で働きたいから働いてゐ  
るんだ、この言はれは私達は一歩  
もありません。だが私達は他人  
に言ひたいのであります。

若し皆さんのさうすることが、  
即ち自分が働きたいから働く人だ  
と言ふ考へは働くことか、私達の  
争議団にこんな関係もなければ私  
達は何にも申しません。然しおな  
た方がさうすることが、  
こぢりっか不利になる事になりませう。  
愈しい生計がうまいと金力  
ある会社と戦つて苦勞してゐる私  
達の努力が何れも水が流になる  
のです。

一〇

皆さんは私達と同じく貧乏の苦  
しみを知つてゐる貧乏人です。

兄の貧乏人が貧乏人を益々不幸